

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝昭
戸山芳郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

吉川秀樹
編集委員
金谷文則
菊地臣一
黒坂昌弘
高岸憲二
土屋弘行
内藤正俊
松本守雄
松山幸弘

編集同人

生田義和 澤村誠志
井樋栄二 田辺剛造
岩田 久 田畑四郎
岩本幸英 玉置哲也
大井利夫 中村耕三
小野村敏信 馬場久敏
加藤博之 浜西千秋
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
榊田喜三郎 持田譲治
酒匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

今年の夏は例年に比べて暑い日々が始まりましたが、その後は台風の影響が日本各地で大雨や豪雨が続き、記録的に日照時間が短くなったようです。この原稿を書いている途中の9月18日に発生したペルーの地震による津波がわずか1日で日本に達しました。ペルーの海水が日本に達したのではなくエネルギーの波動が日本に届いたと考えれば納得ですが、その早さには驚きました。沖縄はまだ暑い日が続いていますが、9月になると学会で訪れた内地では朝夕は肌寒く、秋の訪れを感じております。10月からは新専門医制度の病院群作りが始まります。臨床研修制度は厚生労働省の思惑と異なり、都会に研修医が集まり地方の医療が疲弊・崩壊しました。官僚は優秀な人が集まっているはずですが、臨床研修制度ばかりでなく年金データの流出や消費税軽減措置に対する対応など、あまり賢さを感じません。机上ばかりでなく、現場を知ることが重要との印象を受けました。

今回の「視座」はエビデンスについてです。私も日整会ガイドライン委員会の委員長を務めていましたので、日常診療で行っている多くの診療行為に推奨度 Grade I (エビデンスがない)を付けざるを得ず、少なからず忸怩たる思いを持ってました。一方、当然と思って行っていた手指滅菌時の滅菌水の使用に有用とのエビデンスがなく、水道水でも十分なことが明らかにされたことは、EBMによる成果の1つです。私たち整形外科医も自らエビデンスを作ってゆることが大事だと思います。

本号のシンポジウム「成人脊柱変形へのアプローチ」は脊椎・脊髄外科の最先端です。数年前まで冒険的な手術と思われていた成人脊柱変形の矯正術にエビデンスを伴った手術適応が明らかにされつつあります。LECTURE「整形外科医と漢方薬」では漢方薬の処方における科学的なアプローチが述べられています。整形外科・知ってるつもり「脊髄損傷における血糖管理」では、脊髄損傷における血糖管理が予後を改善する可能性が示唆されており、今後の発展が期待されます。最新基礎科学「ビタミンDの骨吸収抑制機序」では、ビタミンDのin vitroとin vivoの作用が違うことを指摘し、ビタミンDは破骨前駆細胞を骨から遠ざけることで骨吸収を抑制していること指摘しました。筋への作用が注目されているビタミンDはますます運動器に重要なことが明らかになりました。

本号も有用な情報が満載です。日常の臨床や研究にお役立ていただければ幸いです。
(金谷文則)

臨床整形外科 (第50巻第11号)

2015年11月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,500円+税

2015年 年間購読料(送料弊社負担)
冊子版 28,080円+税
冊子+電子版/個人 33,080円+税
冊子+電子版/共有 37,280円+税
電子版/個人 28,080円+税
電子版/共有 32,280円+税

※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2015, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。